

令和 6 年度
下水道に関する事故発生状況について
(令和 6 年 7 月末時点)

1. 人身事故（総括）
2. 維持管理作業事故
3. 工事事故
4. 水質事故等

国土交通省 水管理・国土保全局
上下水道企画課
下水道事業課

1.人身事故(総括)

(令和6年7月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7月までの集計	年度合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)	0 (0)
	2. 負傷事故	5 (2)	2 (4)	4 (3)	8 (0)									19 (9)	19 (9)
	合計	5 (2)	2 (4)	4 (3)	8 (0)									19 (9)	19 (9)
	累計	5 (2)	7 (6)	11 (9)	19 (9)									-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)	0 (0)
	2. 負傷事故	5 (6)	4 (0)	6 (7)	5 (2)									20 (15)	20 (15)
	合計	5 (6)	4 (0)	6 (7)	5 (2)									20 (15)	20 (15)
	累計	5 (6)	9 (6)	15 (13)	20 (15)									-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)	0 (0)
	2. 負傷事故	10 (8)	6 (4)	10 (10)	13 (2)									39 (24)	39 (24)
	合計	10 (8)	6 (4)	10 (10)	13 (2)									39 (24)	39 (24)
	累計	10 (8)	16 (12)	26 (22)	39 (24)									-	-

※下段()書きは前年度(令和5年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.維持管理作業事故 (令和6年7月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	2 (0)	1 (0)	0 (2)	3 (0)									6 (2)
	2. 政令市	0 (1)	1 (0)	2 (0)	1 (0)									4 (1)
	3. 一般市	3 (1)	0 (3)	2 (1)	3 (0)									8 (5)
	4. 町村	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)									1 (1)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	合計	5 (2)	2 (4)	4 (3)	8 (0)									19 (9)
発生施設	1. 管渠	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	2. マンホール	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)									1 (0)
	3. 処理場	4 (1)	2 (2)	4 (2)	6 (0)									16 (5)
	4. ポンプ場	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)									1 (2)
	5. その他	0 (0)	0 (1)	0 (1)	1 (0)									1 (2)
	合計	5 (2)	2 (4)	4 (3)	8 (0)									19 (9)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	負傷事故	5 (2)	2 (4)	4 (3)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (9)
	1. 墜落・転落	2 (1)	2 (1)	1 (2)	2 (0)									7 (4)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)									3 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)									1 (0)
	4. 切れ・こすれ	1 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)									2 (1)
	5. 転倒	2 (0)	0 (2)	1 (1)	1 (0)									4 (3)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	12. 公衆災害	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)									1 (1)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)									1 (0)
	合計	5 (2)	2 (4)	4 (3)	8 (0)									19 (9)

(単位:人)

被災者数	1. 自治体職員	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)									0 (1)
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	②負傷	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)									0 (1)
	2. 委託先業者	4 (1)	2 (3)	4 (3)	7 (0)									17 (7)
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	②負傷	4 (1)	2 (3)	4 (3)	7 (0)									17 (7)
	3. 第三者	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)									1 (1)
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	②負傷	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)									1 (1)
	合計	4 (2)	2 (4)	4 (3)	8 (0)									18 (9)
	累計	4 (2)	6 (6)	10 (9)	18 (9)									- -

※()書きは、前年度(令和5年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

維持管理作業事故情報データベース

令和6年7月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者				
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況	
7月											
1	R6.7.4	都道府県	処理場	④切れ・こすれ	水質検査で使用したピーカーを洗浄した際に、ピーカーが破損していたため、左手小指負傷。	・在庫を含めガラス器具の一斉点検を実施。（傷、割れ、ひびの確認及び廃棄処分） ・樹脂製に変更可能なものは交換する。 ・器具類については取り扱う前に必ず異常が無いか確認を行う。	委託先業者	61	女	左手小指切り傷（5 c m未満縫合）	
2	R6.7.10	町	処理場	②はさまれ・巻き込まれ	定期点検終了後の移動中に階段から転落し、多発胸椎圧迫骨折、左第12肋骨骨折。	・手摺の設置を検討中。	委託先業者	54	男	多発胸椎圧迫骨折、左第12肋骨骨折（全治75日）	
3	R6.7.23	政令市	処理場	②はさまれ・巻き込まれ	回転中の炭化炉ロータリーキルンに巻き込まれ保護板に挟まれたことから、右手中指を骨折。	・作業手順書の確認。 ・非定常作業におけるルールの徹底。 ・安全管理部による安全教育。 ・リスクアセスメントの見直し。	委託先業者	48	男	右手中指骨折（先端部）	
4	R6.7.24	一般市	処理場	⑤転倒	処理水送水ポンプの運搬中、台車が段差に引っかかりポンプが左足に落下し、左足甲骨骨折。	・移動場所をあらかじめ決定しておく。 ・移動場所に応じた適切な台車等を用意する。	委託先業者	49	男	左足甲骨骨折（全治8週間）	
5	R6.7.27	都道府県	処理場	①墜落・転落	汚泥処理棟脱水機室の清掃中にホースが足に絡み転倒し、右手首を骨折。	・段差を超えない場所に水栓の位置を変更する。	委託先業者	62	男	右手首骨折	
6	R6.7.30	一般市	その他	②はさまれ・巻き込まれ	集水樹のゴミをダンプトラックに積み込み作業中、荷台に乗車時にバランスを崩して背中から転落。	・作業前に荷台のあおり付近で作業するには墜落災害の恐れがあることを周知する。	委託先業者	76	男	背中への打撲による腎臓の少量の出血	
7	R6.7.30	都道府県	処理場	⑫公衆災害（人身）	ベルト駆動装置（換気機械）の潤滑油点検（給脂作業）中に、ベルト駆動部に左手指が巻き込まれ、左手薬指先端部を切断。	・作業手順書の作成と作業方法の現場実施教育 ・作業前KYミーティング実施方法についての再教育 ・安全意識の向上 ・OC全体としての安全会議の開催と危険行為の再教育	第三者	48	男	左手薬指先端部（約10mm）切断	
8	R6.7.31	一般市	マンホール	⑫公衆災害（人身）	事故当日の大雨によりマンホール蓋が外れ、通行人が落下し負傷。	・人孔蓋の外れたマンホールは、鍵のないタイプのものであったため、人孔蓋を鍵つきタイプに変更予定。	第三者	43	男	左肩甲骨骨折、左肩と腕の境目の骨にヒビ、左眉付近を8針縫合	

 : 死亡事故 : 負傷事故

3.工事事故
(令和6年7月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (0)	1 (2)	0 (3)	4 (0)									6 (5)
	2. 政令市	1 (6)	0 (4)	2 (2)	3 (1)									6 (13)
	3. 一般市	2 (5)	3 (0)	6 (5)	2 (3)									13 (13)
	4. 町村	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)									1 (1)
	5. その他	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									1 (0)
	合計	6 (11)	4 (6)	8 (10)	9 (5)									27 (32)
工事分類	1. 管きょ開削	3 (6)	2 (6)	2 (5)	5 (3)									12 (20)
	2. 管きょ推進	0 (1)	1 (0)	2 (1)	0 (0)									3 (2)
	3. 管きょシールド	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)									1 (0)
	4. 管きょその他	1 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (2)									5 (2)
	5. 処ボ土木建築	1 (3)	1 (0)	0 (3)	2 (0)									4 (6)
	6. 処ボ機械電気	1 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)									2 (2)
	7. 処ボその他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	合計	6 (11)	4 (6)	8 (10)	9 (5)									27 (32)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	負傷事故	5 (6)	4 (0)	6 (7)	5 (2)									20 (15)
	1. 墜落・転落	3 (1)	1 (0)	2 (2)	1 (0)									7 (3)
	2. はさまれ・巻き込まれ	2 (1)	2 (0)	3 (1)	0 (0)									7 (2)
	3. 飛来・落下	0 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (0)									2 (2)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)									0 (2)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)									2 (1)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)									0 (1)
	7. 土砂崩壊	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (1)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)									0 (1)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (1)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)									1 (1)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)									1 (0)
	物損事故	1 (5)	0 (6)	2 (3)	4 (2)									7 (16)
	12-2. 公衆災害(物損)	1 (5)	0 (6)	2 (3)	4 (2)									7 (16)
	合計	6 (11)	4 (6)	8 (10)	9 (4)									27 (31)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数	1. 死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	2. 負傷	5 (6)	4 (0)	6 (9)	5 (2)									20 (17)
	合計	5 (6)	4 (0)	6 (9)	5 (2)									20 (17)
	累計	5 (6)	9 (6)	15 (15)	20 (17)									- -

※()書きは、前年度(令和5年度)の値
※国土交通省へ報告のあった事故について集計

工事事故情報データベース

令和6年7月末時点

NO.	発生年月日							被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	事故概要	発生場所	事故類型	年齢	性別	被害状況
7月										
1	R6.7.1	1.都道府県	1.管きょ開削	土工	ガスの供給管がある位置を予想し掘削作業中、部分的に改良土で埋戻しされた箇所が確認され、土が固く掘削できなかったため、バックホウで掘削したところ供給管を損傷した。	現場内	12-2.公衆災害（物損）			ガス供給管φ30毀損
2	R6.7.1	3.一般市	5.処ボ土木建築	一般作業	足場上で足を滑らせ転倒し右脇腹を足場手すりに強打した。	現場内	5.転倒	58	男	肋骨3本骨折
3	R6.7.3	1.都道府県	1.管きょ開削	土留め工	掘削作業中、湧水が発生したため地山の崩壊を防ぐために軽量鋼矢板にて建て込みを行った。 その際にガス供給管に接触し損傷させた。	現場内	12-2.公衆災害（物損）			ガス供給管PEφ30毀損
4	R6.7.10	3.一般市	4.管きょその他	既設管切断工	ヒューム管を切断している際に、刃が折れて跳ね返り右眼周辺の打撲と眼下に3～4センチの切創が生じた。	現場内	3.飛来・落下	31	男	右眼周辺の打撲と切創
5	R6.7.11	2.政令市	1.管きょ開削	取付管工	下水道取付管工事の掘削箇所に一時的に鉄板を設置し、車両の通行を確保していた。 被災者は原動機付自転車で片側交互通行となっている南行車線を南から北に通行していたところ、掘削箇所と鉄板の隙間(約0.15m)に車両前輪がはまって転倒し負傷した。	現場内	12-1.公衆災害（人身）	19	男	右足擦り傷、右足打ち身
6	R6.7.22	2.政令市	1.管きょ開削	取付管工	掘削作業中、体調不良となった。 休憩をしても体調の改善が見られないことから病院に搬送。	現場内	14.その他	65	男	熱中症
7	R6.7.29	1.都道府県	6.処ボ機械電気	吊り込み作業	焼却炉設備の機器の撤去を架台上で行っていた際、クレーンアームと建屋の梁が干渉したため、玉掛の吊換え作業を行っていたところ 機器がバランスを崩しそれに伴って被災者が墜落した。(墜落制止器具を既設物から外していた)	現場内	1.墜落・転落	50	男	左寛骨臼骨折
8	R6.7.30	2.政令市	5.処ボ土木建築	解体工	ポンプ場解体工事において前面道路に埋設されている汚水送水管を撤去する際に バケット先端がガス管に接触し破損させた。	現場内	12-2.公衆災害（物損）			ガス管(ポリ管φ150)破損
9	R6.7.31	1.都道府県	1.管きょ開削	取付管工	まず取付管の布設替えのため、掘削作業を行っていたところ過去にガス管の損傷(下水道工事ではない)のため設置していた補修用カバーが外れたため ガス漏れが発生した。	現場内	12-2.公衆災害（物損）			ガス管既設損傷箇所の補修用カバーが外れた事によるガス漏れ

: 死亡事故
 : 負傷事故
 : 物損事故

4.水質事故等 (令和6年7月末時点)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	2 (5)	3 (5)	2 (2)	1 (1)									8 (13)
	累計	2 (5)	5 (10)	7 (12)	8 (13)									-

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (1)	0 (2)	0 (1)	1 (0)									1 (4)
	2. 政令市	2 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)									4 (1)
	3. 一般市	0 (4)	1 (2)	1 (1)	0 (1)									2 (8)
	4. 町村	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)									1 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	合計	2 (5)	3 (5)	2 (2)	1 (1)									8 (13)
発生施設	1. 管渠	2 (2)	2 (4)	0 (2)	0 (1)									4 (9)
	2. マンホール	0 (3)	0 (1)	0 (0)	1 (0)									1 (4)
	3. 処理場	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)									2 (0)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	5. その他	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)									1 (0)
	合計	2 (5)	3 (5)	2 (2)	1 (1)									8 (13)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	1 (3)	2 (5)	1 (0)	1 (0)									5 (8)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (1)									0 (3)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	1 (0)	1 (0)	1 (2)	0 (0)									3 (2)
	合計	2 (5)	3 (5)	2 (2)	1 (1)									8 (13)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)									1 (0)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)									1 (1)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	2 (5)	1 (5)	0 (1)	1 (1)									4 (12)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	水質事故 合計	2 (5)	2 (5)	1 (2)	1 (1)									6 (13)
	その他案件	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)									2 (0)
	水質事故等 合計	2 (5)	3 (5)	2 (2)	1 (1)									8 (13)
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	② 耐用年数以内	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)									2 (1)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)
	合計	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)									2 (1)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()書きは、前年度(令和5年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

令和6年7月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・対応		
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	事故への対応	
7月							
1	R6.7.16	1.都道府県	マンホール	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	・落雷により、マンホールポンプの操作電源ブレーカーがトリップし、ポンプ機能が停止。また、通信回線が不通となったため遠方監視が不能となった。 ・結果、人孔内に汚水が貯留し、マンホールから推定約300㎡の汚水が流出。 ・本来、通信回線不通となった場合は、中央監視システムで警報により覚知できるが、今回は警報が作動しなかった。原因はシステム（遠方監視制御装置）のプログラム不備であり、定期点検では試験を実施していない事象。	・中央監視システム（遠方監視制御装置）のプログラム不備について、メーカー改修を実施し、改善済み。 ・システム定期点検について、試験内容を見直し。 ・プログラム不備等、今回の事象について管内流域下水道事務所で情報共有。